

## 議事録(公表用)

会議名称	長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム 第5回ミーティング		
開催日時	令和8年(2026年)3月5日 10:00~12:20	開催場所/ 方式	参集(県立長野図書館3階信州・学び創造ラボ)+WEB会議
出席者 (敬称略)	長野県図書館協会 依田会長、棟田副会長、森理事長、山口小中学校図書館部会長、峯村公共図書館部会長*、武田佳代(大学図書館部会長指名 信州大)、原猛*(長野県高等学校図書館協議会事務局長指名 赤穂高)、干川優(県教育委員会事務局生涯学習課)、長谷川松実*(小中学校図書館部会長指名 木祖村立木祖小) 文平玲子(公募 市立須坂図書館長)、米山美保(公募 長野市立松ヶ丘小) (*印:WEB参加)		
ゴール(目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館協会指針※針改訂に向けた手順・役割分担等に係る認識共有、新しい章立てに係るアイデア出し ※ 指針:『「長野県における図書館の現状と今後の方向」についての指針』</li> <li>● 当チームでの検討結果の事業への反映について内容・手順の確認</li> </ul>		
アジェンダ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 検討結果の事業への反映             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 協会ホームページ、キャッチコピー</li> <li>(2) マニュアルについて</li> </ol> </li> <li>2 指針※・パンフレット改訂に向けて             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 指針改訂の背景</li> <li>(2) 新章立て・担当(案)</li> <li>(3) 今後の進め方・スケジュール</li> </ol> </li> <li>3 研修委員会の設置について</li> <li>4 その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 提案事項の決定への流れ確認(スケジュール表により)</li> <li>(2) 図書館協会 R8 年度予算案</li> </ol> </li> </ol>		

### 決定事項/To do

#### ■決定事項

- 図書館協会ホームページに掲載するキャッチコピーは、「つながる ささえる さまざまな図書館のネットワークで、県民の学びと暮らしをささえます」とする。
- 図書館協会指針について、各部会の章立てについては、改訂作業に着手。
- 研修委員会設置は令和8年度末までの設置を目途に進める。

#### ■To do

- 図書館協会指針について、現行の4, 5, 6章に相当する部分について、次回ミーティングまでに、新たな章立て・役割分担について事務局にてたたき台案作成
- 図書館協会指針改訂作業について、機会をとらえ各部会内へ展開
- 次回ミーティングを令和8年6月頃実施(別途日程照会)

#### 【議事概要】

##### 1. 検討結果の事業への反映

###### (1) 協会ホームページに掲載するキャッチコピーについて

「つながる ささえる さまざまな図書館のネットワークで、県民の学びと暮らしをささえます」とすることを決定。主体的・協働的な姿勢が伝わる表現として評価された。→ 協会が「上から支える組織」ではなく、館種・地域を越えて共に支え合うネットワークであることを明確に示す。

###### (2) 大会運営マニュアルについて

県図書館大会運営マニュアルについては、チームメンバーによる共同編集環境での編集作業を

## 議事録(公表用)

進めており、過去大会の引き継ぎ課題（参加者の役割不明確、立場の違いによる不安等）を踏まえ、引き継ぎ方法や参加者の明確化を盛り込む方向を確認。また、大会の広報強化の必要性についても意見が出され、マニュアルへの記載も含め今後の課題とした。今後、木曾大会での実践を通じて継続的に改善を重ね、協会ホームページに掲載予定。

### 2. 協会指針改訂

#### (1) 改訂の背景

- 国の有識者会議による図書館・学校図書館制度等の見直しが進められている。
- 現行指針策定（H24）以降の、読書環境、デジタル化、連携、防災等をめぐる社会的変化
- 協会の役割を「つながる・ささえる」立場から再定義する必要性

#### (2) 章立ての基本構成（案）

- 第1章：公共図書館
- 第2章：学校図書館
  - 小中学校
  - 高等学校
  - 特別支援学校
- 第3章：大学図書館

加えて、後半章では館種横断的なテーマとして以下を盛り込む方向で検討。国の有識者会議の報告書に挙げられている重点課題や、乳幼児期からの読書支援や特別支援学校における図書館機能を明確に位置づける必要性が強調された。次回会合（6月頃）までに具体案を作成する。

- 乳幼児期からの読書支援
- 読書バリアフリー
- 防災・大規模災害と図書館
- 学校・公共・書店等との連携
- デジタル化・人材育成・配置

→ 協会指針を「現場で使える・説明に使える」ものにすることを重視。

#### (3) 協会指針改訂作業の開始

- 各部会に関わる章については改訂作業に着手、各部会に展開し検討を進める。
- 令和9年度総会での決定を目標とする

### 3. 研修委員会の設置

協会研修の企画・決定プロセスを明確にするため、研修委員会の新設を検討した。設置は令和8年度末を目標とし、それまでの間はあり方検討チームが暫定的に研修内容を審議することを確認した。委員構成は、館種・地域のバランスや公募を考慮する方向とした。

### 4. その他

以下について、案の内容及び図書館協会理事会・総会に諮る流れを確認した。

#### (1) 県図書館大会の開催ローテーション案

- 小中学校部会提案のローテーション案を共有
- 各地区の実情に応じた研修実施は今後も妨げない
- 北信越大会との関係は、今後の動向を踏まえて継続検討

#### (2) 予算案（オンライン併用時の補助）

## 議事録(公表用)

図書館大会でオンラインを併用する場合は、それに要する経費を図書館協会から30万円を上限に補助することとし、そのための予算を図書館協会(本会)の予算に計上(予備費として)

(了)